

[全成分]

水：純水

ラウレスー6カルボン酸Na：陰イオン界面活性剤（アニオン界面活性剤）です。酸性石けん系の洗浄成分です。弱酸性においても起泡力を持っています。適度な洗浄力で潤いを保ちながら洗浄できます。

塩化Na：いわゆる食塩です。海水中にも28%ほど含まれています。増粘剤としてや収れん作用を期待して使用されます。

ココミドプロピルベタイン：天然成分を原料とした、ベタイン系の洗浄剤。界面活性剤である。その特性はとてもマイルドで、コンディショニング効果もある洗浄剤。洗ったあともごわつかず、しなやかに仕上がる。ベタイン系の洗浄剤は数種類あるが、その中でもよく使われる洗浄剤である。またコンディショニング効果を活かしてリンスやコンディショナーへの配合例もある。目にも優しく、ベビー用シャンプーによく使われる。

ココミドDEA：非イオン性の界面活性剤。シャンプーに配合すると、泡の安定性向上、起泡、増粘、などの効果が得られる。ただし補助的に配合するのがベストで、配合比率が高すぎると髪の質感低下につながる。

ココイルメチルタウリンNa：ヤシ油とタウリン誘導体で構成される界面活性剤。とても低刺激で、泡立ちも良い。タウリンはアミノ酸ことでも近い成分で、文献によってはアミノ酸系洗浄剤に分類されている。洗いあがりはさっぱりタイプでしなやかにふんわり仕上がる。かなり高価な成分である。

PPG-5セテスー10リン酸：ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテルリン酸とも呼ばれる酸化エチレンと酸化プロピレンとセタノールから作られる非イオン性界面活性剤。乳化作用に優れているのが特徴です。クリーム、乳液に使用されます。

フェノキシエタノール：殺菌効果があるので防腐剤として使われる。安全性などの面から化粧品での使用配合量は上限10%までと決められている。パラベン等と組み合わせることで、化粧品を防腐する。

プロパンジオール：植物デンプンを発酵させて得られる植物由来グリコールです。保湿性が高く、グリセリンと組み合わせると相乗効果でより保湿力が高まります。髪に対してもしっとり感・つるつる感・柔らかさ・軽さなどを与えます。防腐剤として使用されることもあり、ベンチレングリコールなどと組み合わせることでパラベンの使用量を減らすなどの使い方もできます。

DPG：多価アルコール、という分類の保湿剤。べたつきの少ない保湿剤として、よく使われる。また、感触改良剤、溶剤、などとしても使われる。

ポリクオタニウム-6：第四級アンモニウム塩型に分類される陽イオン界面活性剤の一種であるジアルリジメチルアンモニウムクロリドの重合体で、水溶性のカチオン性高分子です。泡立ちをよくする効果があり、シャンプーや洗剤料に使用されます。毛髪に対して帯電防止効果や柔軟性を与える効果があり、高いコンディショニング効果を持つ成分です。

ラベンダー油：ラベンダーの花と花茎から水蒸気蒸留法で抽出した精油です。香りをつけるためにヘアケア、スキンケア製品全般に使われます。天然の香料のため、自然派化粧品やオーガニック化粧品にも使用されます。

アルギニン：アミノ酸の一つ。保湿効果などの目的でヘアケア、スキンケア製品に配合される。皮膚や毛髪もアミノ酸からできているのでなじみが良い。また、アルカリ度が強いことから中和のときにアルカリ剤としても使われる。このアルギニンで中和したアミノ酸石鹸などもあり、従来の石鹸より肌にやさしい。

ユーカリ葉油：ユーカリの葉から得られる精油です。成分としてはシネオールが主成分でピネン、テルピネオールなどを含んでいます。香りもすっきりしており、また収れん作用などがあるため洗剤料やニキビ用化粧品、育毛剤等のヘアケア用品にも使用されます。

ペント酸5Na：ペント酸の五ナトリウム塩です。スキンケアやシャンプー中などの水の中に金属イオンが含まれていると、酸化促進、毛髪のきしみなど品質悪化や機能低下を引き起こします。これを防ぐのが金属イオン封鎖剤（キレート剤）です。

ティーツリー葉油：ティーツリーの葉を水蒸気蒸留して得られる精油です。スーッと鼻に抜ける爽快な香りがします。洗剤料に配合すると洗浄によりニキビやあせもを防いだり、ヘアケアでも頭皮環境を整えるなどの効果が望めます。

クエン酸：天然に広く存在する有機酸の一種。酸化防止剤、収れん剤などとして幅広く使われている。生体成分であるため安全性も高く、スポーツ飲料などにも使用される。

トコフェロール：植物油に含まれる油溶性のビタミン。化粧品には一般的に合成されたビタミンEが使用されます。強い抗酸化力があるため、化粧品に配合することで活性酸素による酸化を抑え、肌の老化を防止します。また、血行を促進する作用があり、ターンオーバーを促します。脱毛症、特に円形脱毛症では毛細血管機能が低下するといわれており、末梢血管拡張剤として育毛剤にも使用されます。スキンケアに使われるオイルや、また食品の酸化防止剤としても使用されています。

ニオイテンジクアオイ油：精油では、セラニウム油として有名なオイルです。スキンケアにも肌荒れ防止、皮脂分泌バランスを整える、ニキビケアなどとして使用されます。

カプリルヒドロキサム酸：キレート剤（金属封鎖剤）。安全性が高く、使用可能なPHの範囲も広く、少ない配合量で効果を発揮します。自然派化粧品や無添加製品などに多く配合されています。